

2 . 地域的景観形成の方針

地域的景観は、市民が接する日常的な空間において、生活の中にとけ込んだ「生きられる景観」であり、目標とする「おかやまの原風景を活かした景観の創生」を地域レベルから目指すものです。それは、地域コミュニティを単位とする「景観まちづくり」であり、市民が連帯して街を創るといった協働構造があってこそ形成されるものです。

市内には、随所に優れた自然や歴史または文化的な価値がある景観資源が数多く眠っています。景観まちづくりは、景観資源を掘り起こし研ぎ育てると同時にそれを生活の中に活かしつつ、地域全体の景観的な価値を高めることにより、市民がいきいきと暮らせる生活空間を形成することを目指します。そして、各地域での取り組みの成果が積み重なり、また連携することにより、広域的な景観形成と相まって、岡山の景観づくりを力強く押し進めます。

ここでは、前章（広域的景観形成の方針）で分類した景観ゾーンごとに、景観まちづくりにより地域的景観形成に大きな効果が期待できる代表的な地区を取り上げ、地域資源の活用事例を概観します。今後、住民主体の景観形成にあたり、景観づくりの方針は、これらの地区の状況に即して詳細に検討すべきものです。なお、ここで取り上げた地区以外でも、広域的な景観形成の方針を踏まえながら、地区が有する景観資源を題材に様々な取り組みが可能です。

表2 - 5 代表的な地区と景観資源の活用事例

景観ゾーン	地区名	景観資源の活用事例
自然ゾーン	西山内・間倉地区	～緑の原風景～ 北部丘陵地には谷地や山上に棚田景観が豊富に存在しており、心地よいふるさと景観が生み出されている。同時に多様な生物の生息空間ともなっており、自然景と人工景が調和した二次的自然景観として、また落ち着いた農村景観として維持保全を図る。
	金川周辺地区	～歴史と水の原風景～ 金川駅周辺には、旧御津町の芸術・文化・歴史の学び拠点となる郷土歴史資料館や、江戸時代の酒造場を改修し地域拠点として再生した SAKAGURA などがあり、これら歴史的資源の有機的連携と周辺の山並みや、周辺の河川景観を活かした景観まちづくりによる景観形成を図る。
田園ゾーン	吉備中山地区	～緑と歴史の原風景～ 一面の田園風景を手前に、なだらかな吉備の中山を背景とし、吉備津神社、吉備津彦神社などの歴史的建造物などが壮大な吉備の景観を形成しており、吉備中山の緑とスカイラインの保全、歴史を感じさせる街並みを保全し、自然と歴史の融合した景観形成を図る。
	造山古墳周辺地区	～農と歴史の原風景～ のどかな田園風景にとけ込む造山古墳は、既存集落、背景となる山並みとともに、素朴で叙情的な美しい景観が形成されており、造山古墳の緑、スカイラインの保全、穏やかな田園景観、既存集落のおちついた佇まいの保全を図る。
	足守地区	～歴史の原風景～ かつて陣屋町として栄え、独特の文化を育んだ地域であり、これら歴史的、文化的遺産を後世に伝え、そこに暮らす人たちの生活を守り育て、観光振興と地域の活性化を図るため、陣屋町の核となる歴史的街並みなどの保全・活用を図る。
	芳賀佐山周辺地区	～緑と農の原風景～ 地区周辺では桃などの果樹栽培が盛んであり、丘陵地と一体となって特徴的な農業景観を形成しており、これらのまとまった丘陵地の農業景観を適切に保全・形成する。
	大廻小廻山城跡周辺地区	～歴史と緑の原風景～ 大廻小廻山は大規模な山城跡があり、文化財的価値も非常に高く、また周辺部にも歴史的資源を持つ小高い丘陵地が多数存在しており、それらの斜面緑地を適切に保全するとともに、歴史的資源を活かした景観まちづくりを図る。

景観ゾーン	地区名	景観資源の活用事例
田園ゾーン	幸島新田地区	～農と緑の原風景～ 平野部の多くが江戸期の干拓地であり、現在も当時の美しい田園景観が広がり、またなだらかな山並みと、落ち着いた集落に囲まれた当地区は、干拓農地を適切に保全しながら、周辺環境に調和した農村景観の形成を図る。
干拓ゾーン	灘崎町田園地区	～農の原風景～ 江戸時代から昭和にかけての大規模な干拓によって形成された干拓地であり、広々とした田園と集落が一体となって干拓地の地割等象徴的な景観を今に伝えている。優良な農地の維持保全を図るとともに、干拓の歴史を後世に伝える。
	沖田地区	～農と歴史の原風景～ 江戸時代の大規模新田開発によって形成された干拓地には、「おきた姫」の伝説で知られる沖田神社など干拓の歴史に関わるシンボルが存在する。農業基盤の整備を通じて農地の維持保全を図るとともに、干拓の歴史と物語を後世に伝える。
市街地ゾーン	庭瀬・撫川地区	～歴史の原風景～ かつて陣屋町が築かれており、庭瀬往来に伝統的な街並みが比較的残されており、また寺社が多く城跡周辺には堀や水郷が張り巡らされており、庭瀬往来の修景及び伝統的建物を保存するなど、陣屋町全体を総合的に歴史的な風情に整備する。
	西部新拠点地区	～都の原風景～ 国際福祉都市をテーマに、都心に次ぐ新拠点として、新駅周辺の立地を活かし、広域的都市機能を核としたまちづくりを進めており、合わせて新拠点に相応しい快適性と魅力を備えた景観の形成を図る。
	後楽園周辺地区	～歴史・都と水の原風景～ 後楽園周辺地区は出石町の歴史的街並みや、城郭・美術館等が一体となった歴史・文化ゾーンを形成しており、より魅力的で賑わいある地域を形成するため、地域住民、施設等がそれぞれ連携し合いながら、景観形成を図る。
	西川緑道公園周辺地区	～水・緑と都の原風景～ 岡山都心部の憩いの空間である西川緑道公園は、街中に緑や水といった自然の要素を取り込みながら、公園周辺も含めた人々が集い賑わう場づくりを進め、多様な人々が交流し都心を回遊できるような空間形成を図る。
	アエル東ヶ丘住宅地区	～都の原風景～ まちづくり志向型のアエル東ヶ丘は、周囲が竜ノ口山系に囲まれ、自然豊かな住宅団地となっており、地区計画制度活用による、良好な住環境の形成・保全を図るとともに、周辺の里山環境に配慮した住宅地景観の形成を図る。
	操山周辺地区	～緑の原風景～ 操山は、東西方向に連なる広大な丘陵地であり、後楽園をはじめ市街地の借景ともなる貴重な景観資源である。この緑豊かな資源を多目的なふれあいの森として整備及び保全を図るとともに、沢田、今谷集落の里山の佇まいを保全する。
	藤井地区	～歴史の原風景～ 近世山陽道の宿場町である藤井の宿、古都の宿は、上下する旅人や西国大名の参勤交代などにより繁栄した町であり、歴史的資源を有する貴重な街並みが残されており、落ち着いた街並みの保全・形成を図る。
児島湾水辺ゾーン	西大寺観音院周辺地区	～歴史と都の原風景～ 吉井川の舟運で栄えた港町、そして西大寺観音院の門前町として賑わった往事の面影を色濃く残し、連続して街並みが保存されており、明治から昭和初期の時代を彷彿させるレトロな風情を活かした門前町の再興を図る。
	犬島地区	～水の原風景～ 犬島は、穏やかな海に囲まれた美しい自然景観、斜面に連なる集落景観、採石場跡やレンガ造の精錬所跡の独特な景観など特色ある地域景観を有しており、これらの地域景観を活かし観光振興による島の活性化を図る。
	水門湾地区	～水の原風景～ 水門湾の湾内にはかつて児島湾に多く見られた干潟が唯一残されている。また、湾を取り囲む海辺集落や小高い丘、背後に広がる広大な干拓地が一体となって地域特有の景観を生み出しており、これら複合景観の保全・形成を図る。